

未来農業の
挑戦者たち

食料需給がひっ迫する今こそ、経営安定のチャンス!

必要なのは、国産農産物を 求める声に応える農業経営

世界市場の変化



- 輸出国の国内消費の増加
- バイオエネルギー需要の増加



- 輸入食料の奪い合い
- 輸出国による食料の囲い込み



- 食料の国際価格の急騰
- 食料需給のひっ迫

国産農産物を求める声の高まり

生産者の課題

「安全・新鮮・おいしい」
農産物づくり

地産地消



外食・中食ニーズへの対応



農地の有効利用



耕作放棄地の活用

食料自給率向上に
向けた対策の強化

担い手育成支援

米需要の拡大

耕作放棄地の活用対策が急務 **なんと東京都の1.8倍の面積に上る遊休農地**

耕作放棄地(遊休農地)面積は、昭和60年まではおよそ13万haで横ばいでしたが、平成2年以降増加に転じ、平成17年には東京都の面積の1.8倍に相当する38.6万haとなっています。食料自給率の向上には、こうした耕作放棄地の適正な活用が不可欠であり、平成19年6月の閣議決定でも「5年程度を目途に農業上重要な地域を中心に耕作放棄地ゼロを目指す」と、この課題の重要性、緊急性が示されています。

実際、担い手への農地の利用集積や集落営農の組織化・法人化、土地基盤整備など耕作放棄地の解消・発生防止の実現に向けた各種制度や施策が次々と実施され、全国各地でさまざまな取り組みが行われています。農業生産者・団体にとって、耕作放棄地の活用は今後の経営を考えるうえで、ますます重要なテーマ。全国の耕作放棄地の解消事例に学びながら、地域の実態に即した取り組みが急がれます。

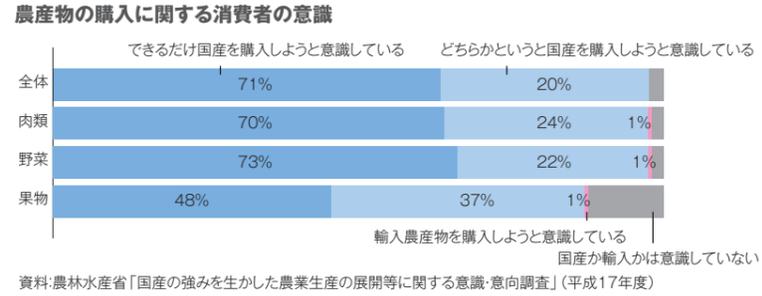
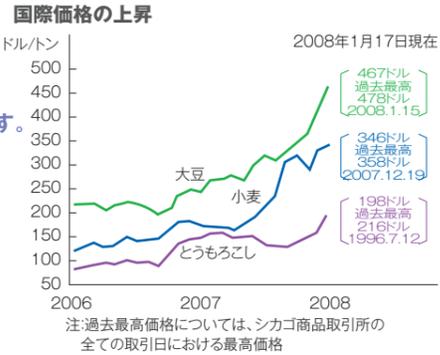
世界情勢が大きく変化中、食料の安定供給の確保をめざして

食料需給のひっ迫による価格高騰が消費者を直撃！ このピンチを乗り越えるには生産者の協力が不可欠です

食料の未来を描く戦略会議

未来農業の
挑戦者たち

世界各地で起きている異常気象の影響やバイオエタノール生産の急増、中国・インドの経済発展などにより、近年、世界の食料需給構造が大きく変わりつつあります。食料自給率の低いわが国は、海外の食料事情に大きく左右されやすく、最近の穀物や油脂作物の価格高騰は顕著で、様々な食料品の価格上昇の連鎖を引き起こしています。一方、世界の食料生産の現状を見ると、反収の伸びは鈍化し、耕地面積も横ばいで推移しており、異常気象の影響もあって、生産が需要に追いつけない状況が今後も続く可能性があります。このような状況を受け、農林水産省では昨年から有識者による「食料の未来を描く戦略会議」を開き、世界の食料需給が深刻さが増す中で、わが国がどのように食料を安定的に確保していくのが模索されています。今回は、同会議の事務局を担当している木村崇之企画官にお話を伺いました。

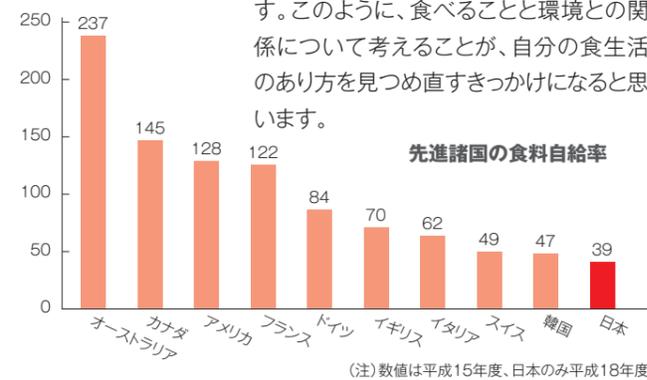


Q わが国にとっては食料自給率の低さも心配ですね。

A わが国の食料自給率は39%で、食料の6割以上を輸入に頼っています。米は自給可能ですが、小麦や大豆、トウモロコシなどは多くを輸入に頼っています。最近、中国・アルゼンチン・ロシアなどの食料輸出国が、食料需給のひっ迫をにらんで、自国への供給を優先するため、輸出規制を導入し始めています。たとえ、お金がいくらあっても輸出国が輸出してくれない状況が起こりうることを示しています。食料安全保障の上からも、わが国はもっと食料自給率を高める必要があります。

Q 食料自給率を上げるにはどうすれば良いでしょうか。

A まず消費面では、私たちひとりひとりが食料問題を自分自身の問題と認識する必要があります。自分が如何に輸入食品に依存しているかを知ってもらうことも大切です。そして「食べること」の意味をもっと考えてもらうことが必要だと思います。例えば、輸入食料は海外から輸送されてきますが輸送に伴い大量のCO₂が排出されています。このように、食べることと環境との関係について考えることが、自分の食生活のあり方を見つめ直すきっかけになると思います。



Q 農家・生産者の取り組みも求められますね。

A もちろん、食料自給率の向上には、生産面の取組が重要です。「食料の未来を描く戦略会議」では生産者である澤浦委員にも参画いただいて、貴重なご意見をいただいています。国産農産物に対して消費者は鮮度や安全性、美味しさの点で高く評価しています。生産者の皆様にはこの強みを活かしてほしいですね。特に、加工用や外食用の需要に応えることが、自給率の向上には不可欠です。一定の品質のものを安定的に供給するのは簡単ではありませんが生産者が連携すれば実現できるはず。世界の食料危機は日本農業再生のチャンスと解く人もいます。こういう時こそ、生産者と消費者、それに食品事業者や政府が結束し、食料自給率の向上を目指して努力する必要があります。そのために、私も政府の一員としてできる限りの努力をしていきたいと思っています。

Q 「食料の未来を描く戦略会議」開催の狙いは。

A 世界の食料を巡る情勢は大きく変化してきています。お金さえ出せば何でも好きなものが買える、おいしいものが食べられるという状況が今後も続く保証はありません。「食料の未来を描く戦略会議」の狙いのひとつは、世界やわが国の食料事情を広く国民の皆様知ってもらうことです。そのうえでわが国が食料を安定的に確保するにはどのような対応をとるべきかについて議論が行われています。本年1月の第4回会合では食料に関わる消費者や農業生産者・農業団体、食品事業者、政府といった主体がそれぞれどのような課題に取り組むべきかについて議論が行われました。

Q 最近、食料品の値上がり目立ちますね。

A そうですね。食料品の価格上昇傾向は明らかですね。世界の食料需給を見ますと、需要の増加に対しそれに見合う供給が追いつかないことが原因です。人口増加による消費拡大、中国やインドの経済発展、石油代替エネルギーとしてのバイオ燃料生産の増加により需要が拡大しています。その反面、供給の方は砂漠化の進展などにより、生産量の急激な増加は望めません。バイオエタノールの増産のために、トウモロコシ作付けが増加したことで、大豆や小麦など他の作物に価格上昇の連鎖が広がっています。オーストラリアの2年連続の干ばつも小麦価格高騰の大きな要因の一つです。このような食料の価格上昇傾向は当面続く可能性が高いと思われます。



農林水産省
大臣官房企画評価課 企画官
木村崇之 氏

profile
1975年生まれ。大学では、農業経済学を専攻。農林水産省に入省後、構造改善局、大臣官房予算課、米国留学、大臣官房国際部を経て、平成19年7月より現職。

日本全国おいしいものづくり

舞台や公演で、日本全国各地へ行かせていただいております。そんな時、地元の方から、その土地ならではの食物をごちそうしていただけることがよくあります。それこそ「おいしい仕事」と言うことになりませぬ。海産物や野菜、果物など、その全てが東京にいたらとても食べられないようなものばかりです。おかげで私には嫌いな食べものとか無いんですよ、子どもの頃からいろんなものを頂いたおかげだと思っており、本当に感謝しています。日本全国おいしいものづくりですね。

「旅愁」に巡り会えたしあわせ。

3歳で舞台をふみ、7歳で歌手デビューしました。そして14歳のとき「旅愁」という歌に巡り会いました。その後の人生をかえた素晴らしい曲です。今までにそれこそ何万回も歌わせていただきました。何回歌っても、新鮮な気持ちで歌えます。歌には唄うたび、若い頃には若い頃、年を経てもその時なりの理解が深まりますからね。こういう曲に出会えることができたのは本当にしあわせだと思います。

美味しい野菜を頂いております。

いま、食と健康についていろいろ言われていますが、信頼のできる食物がほしいものです。私どもでは、お友達から紹介され、ある生産者の方から、お野菜などを直接購入することにしています。その方はフランス料理の料理人でもありまして、食を極め、突き詰めるところはやはり素材であるということからご自分で野菜作りもしております。作る量は限りがありますが、その時にとれたものを箱詰めで送って頂いております。泥が付いたり、虫なんかもついているものもどかと送られてくるんです。食べてみるとおいしい。それぞれの野菜で特有な味がしかり

ており、まるで「野菜からパワーが出ている」ように感じます。作る方の気合いがそれぞれの作物にこもっており、その気合いを感じますね。ときには、見慣れないような野菜が入っている時もあるんですが、そういう時には、これをどうやって料理しようかと本を読んだり色々調べるんです。以前は料理に興味が無かったのですが、そのおかげで今はかなりレパートリーが増えてきました。

私どもでは、子どもも小さいし、家族の健康が心配ですから、食べ物に敏感にならざるを得ませぬ。誰か、どんな風につくっているかを知っておくことも必要ですね。農家の皆様には、安全で安心なおいしい物をたくさん作ってほしいですね。



歌手・舞踊家 西崎 緑さん
東京都出身、1960年生まれ。
三歳の時から日本舞踊の舞台に上がり、その後歌手、子役として数々の舞台、ドラマに出演。
14歳の時に「旅愁」(TV番組必殺シリーズ・暗闇仕留人主題歌)が大ヒット。歌手、女優、舞踊家(西崎流新宗家)として活躍中。

おコメ美味歳々

こんにちは 三菱です —ユーザー紹介—



乾燥工程に気をつかうという隆志さん



出荷直前の西条柿と芳美さん



三菱トラクターで代かき作業もキビキビとこなす



婦人部大活躍の収穫風景

経営規模 柿畑：30a 稲作：70a
主な種類：西条柿
キヌムスメ

島根県八束郡東出雲町上意東
広江隆志・芳美さん



自慢の「西条柿」。 伝統の柿生産には 熱心な研究と たゆまぬ努力があった。

東出雲町は「国引き神話」など多くの神話に彩られた島根県の東部に位置する町で昔から柿は町の特産品です。柿の種類は糖度が18-19度、甘味の強い「西条柿」。

広江隆志さんは、この地で代々続く柿農家を受け継いで約60年、奥様の芳美さんと二人で、柿と稲の栽培を行っています。

隆志さんは非常に勉強家で、柿の品種・栽培法・加工技術などを研究するため、広島、長野や大分などから、遠く中国までも訪ねて知識を深めています。

原木管理・収穫・皮むき・乾燥・出荷と気の抜けない作業が続きます。一つ一つの作業に永年のノウハウがこめられています。

柿の生産は非常に体力と時間が掛かる。

この地での柿栽培は古く、何でも戦国時代にこの辺り一帯が戦場になり各地から集まった武士の保存食として干し柿が使われていたことから、この地での栽培が始まったそうです。

昔はこの辺り全戸柿農家でしたが、今では数戸になってしまいました。西条柿の機械化が思ったほど進まず、体力がいりますからね」と隆志さんは言う。特に柿の皮むき作業に手間がかかります。低コストで機械化する事が一番の望みとのこと。

晩秋の旬にかけて収穫、皮をむきその後乾燥します。この時期、繊細な作業と微妙な判断が求められ、ここでの違いがそのまま生産品の品質に直結するので、何年やってもこの乾燥だけは気が抜けないと言われます。



くびれが特長の「西条柿」▲

芳美さんは「美味しい干し柿は、如何に中の糖分を熟成し「白い粉」として外側に吹かせるかが決め手になります。この熟成させる作業が一番やっかいですね」と顔をほころばせます。

この熟成作業は、各農家独自のやり方で微妙に違いがあるそうです。

西条柿は甘さの高い品種だそうで今後も干し柿の生産を続けたいという。

経営規模 稲作：25ha 野菜作
主な種類：ヒトメボレ・コシヒカリ・ニホンバレ

鳥取県西伯郡伯耆町岩屋谷 農事組合法人岩屋谷農場
代表理事 遠藤 裕さん



中国地方の名峰「大山」の山麓で、 肥沃な土地と清浄な水を活かしお米づくり。 地区の全戸が参加して出資する 結束の堅い農事組合法人。



▲岩屋谷農場のメンバー

この地域は「伯耆国」と呼ばれ、「伯耆」の語源は「山から断崖となって水に落ちるところ」と言われ、水が豊富、水はけの良い地域で、稲作に向いております。岩屋谷の米はおいしいといわれる所以です。

おいしいお米と評判の当地でも、米価の問題や米消費の減少とか、農家にとっても、厳しい情勢に変わりはありません。消費者の皆さんとの懇談会をもちたり、米以外の主力作物の検討とか、岩屋谷の農業をどう維持していくかを真剣に検討しているところです。

強みは、結束力の堅い営農集団。 成果が認められ県知事より感謝状。

中山間地域なので、ある程度集約した形態でないと個人ではやっていけないので法人化は必要でした。同地区の全農家35戸が参加して、平成

16年に法人化しました。

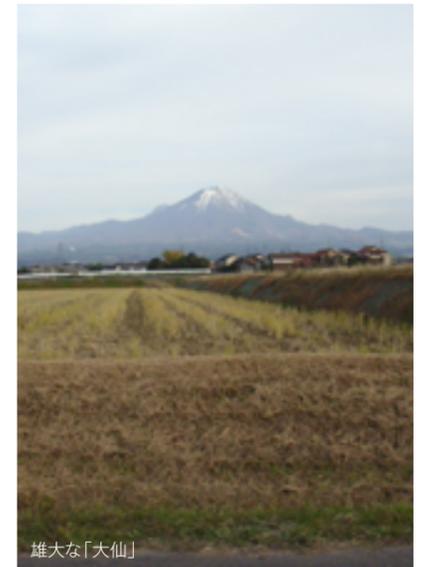
以後、経営の問題、機械化の問題、作業分担等の要件を皆で協力して参りました。

荒廃しやすい遊休農地をなくすことや水利確保、祭りの開催などで地域の活性化にも取り組んでいます。このほど、理想的な営農集団のモデルとして、島根県知事より感謝状をいただきました。

岩屋谷農場の課題と今後

若い人の米離れが進んでいる様で、良いものを作ってもなかなか受け入れてもらえない。今後はハウスでの他の作物栽培を計画しています。

婦人の方々のパワーも引き出すべく全戸で「女性の会」を組織しました。この組織が中心になって年に一回「収穫祭」を実施しています。毎年



雄大な「大山」

多くの人々に集まっていただき、農産物の販売などで好評を得ています。

これも全戸が出資構成員として参加していることが大きいのではないのでしょうか。

農業機械、施設の導入に対して、 20年度は大幅拡充！ 担い手のメリットが拡大します。

平成19年から21年度までの3年間を農政の「集中改革期間」として、担い手のニーズに即した支援が重点的に実施されます。あなたの営農にご活用下さい。但し下記内容は平成20年度政府予算確定後実施の予定です。



担い手育成・確保支援対策

融資で機械施設等を導入する場合、個別経営体でも自己負担部分の助成が受けられます。

〈対象：認定農業者・集落営農組織〉

メリットの例 地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業 (65億円)

[機械等の取得価格] 3,500万円
[資金調達の内訳] スーパーL資金 2,300万円：融資
預金取り崩し 1,200万円：自己負担

上記の場合
自己負担1,200万円が最大で150万円に軽減！
※融資率と目標に応じて、最大で取得価格の3/10まで助成
※原則として融資対象物件以外の担保は不要

無利子で資金が借りられます。

〈対象：認定農業者〉

メリットの例 スーパーL資金、近代化資金の無利子化措置

2,000万円を15年で償還する場合、通常のスーパーL資金と比べて、
年間20万円の利子負担が軽減！ (15年間の平均)
※500万円超の資金が対象

小口の資金は無担保・無保証人、最短1週間で借りられます。

〈対象：認定農業者・集落営農組織 (経営実績が一定格付以上の者)〉

メリットの例 無担保・無保証によるクイック融資

審査期間が大幅に短縮！
(最長1ヶ月半程度→最短1週間程度)
※500万円までの資金が対象

農業機械のリース料支払経費を軽減できます。

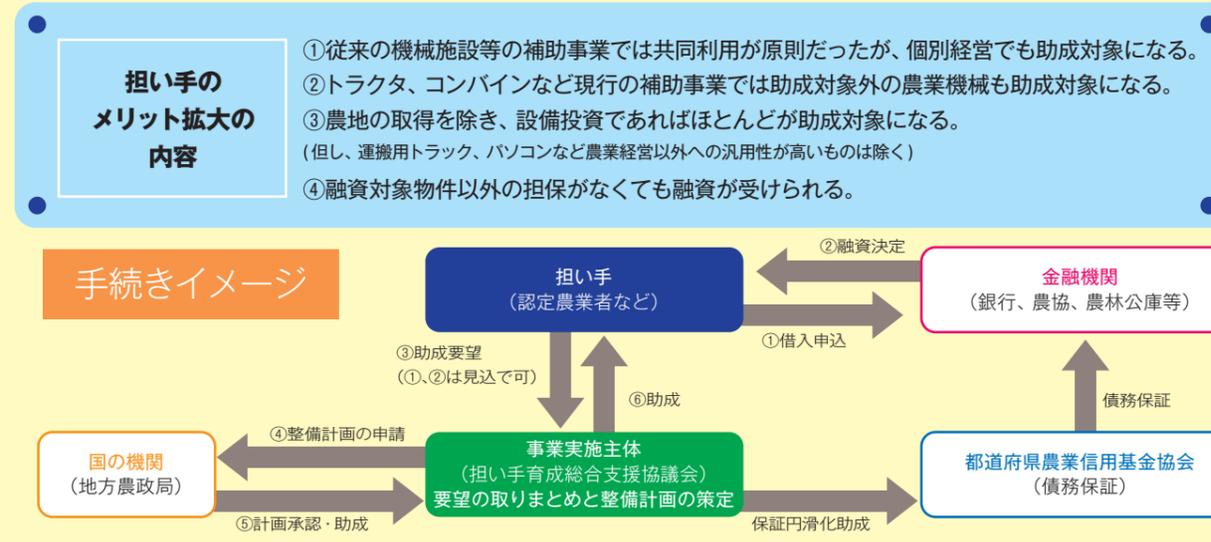
〈対象：認定農業者・集落営農組織〉

メリットの例 担い手経営展開支援リース事業

農業経営改善計画に即して経営改善を行う認定農業者等が、リース方式により農業機械・施設を導入する際に、国がそのリース料の一部を助成します。

例えば、総額200万円のリース料の乗用田植機(6条植)を5年間リースする場合、
リース料負担のうち約20万円が軽減されます。
※認定農業者等支援型

地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業の概要(拡充)



税制面の特典 平成20年4月以後の実施予定



- 1 中小企業投資促進税制の適用期間を2年延長**
 - 適用期間…平成22年3月31日まで
 - 対象者…農業者
 - 対象設備…[リース] 1台・1基当りのリース料総額が210万円以上 [取得] 1台・1基当りの取得価額が160万円以上
 - 税額控除…取得価額の7%の税額控除又は取得価額×30%の特別償却
- 2 A重油の免税措置の適用期間を2年延長**
 - 適用期間…平成22年3月31日まで
 - 対象者…農業者
 - 免税措置…石油石炭税の免税額=2.04円/1リットル当り
- 3 農業用軽油にかかる免税措置の対象範囲の見直し (農作業受託者の追加)**
 - 対象者…農業者及び基幹的な作業の全てを受託する農作業受託者
 - 免税措置…軽油引取税の免税額=32.1円/1リットル当り
- 4 減価償却制度の見直し**
 - 適用期間…平成20年4月1日以後開始する事業年度 (所得税については、平成21年分以後) から適用
 - 新耐用年数…7年
 - 対象設備…農業用設備



主要農業機械の法定耐用年数	機 種	旧法定耐用年数	新法定耐用年数
	1 エンジン	8年	7年
	2 トラクタ	8	
	3 耕うん機	5	
	4 田植機	5	
	5 コンバイン	5	
	6 普通型コンバイン	8	
	7 バイスター	5	
	8 乾燥機	8	

減価償却が変わります

※新営農情報ページは三菱農機だより編集委員会作成

三菱ハーフクローラトラクタ GOK300・GOK340

ほ場を選ばず、安定走行・高精度作業を実現。
低い接地圧でやさしい土づくりに貢献します。



力強さでほ場を走破

後輪が接地面積の広い、幅広クローラなので、ホイールトラクタに比べて接地圧が低く、湿田でも軽快に、力強く走破します。

しかも、ほ場での沈下量が少なく、土を踏み固めないため、通気性・透水性を確保し、作物にやさしい土づくりに貢献します。

また、広い接地面積で重作業機もラクラクとけん引。スリップが少なく、効率良く作業ができます。



変速操作がスムーズに

走行速度は1本のレバーで簡単に操作でき、さらにレバー先端の主変速スイッチで変速操作もラクにできます。スイッチ形状は、指先はもちろん手のひらでも操作可能です。

変速は、マイコンによる電子制御のためショックが少なく、スムーズに走行でき、長時間作業でも快適です。



▲ e-shiftレバー

ワンタッチで簡単操作

ボタン操作だけで作業・走行の切替えができる「おまかせ機能」を装備。ワンタッチで最適な機能設定ができます。また、「おこのみ機能」では、好みに合った設定ができ、一度設定すればボタン一つで同じ設定にできます。

耕深・傾斜はデジタル制御。これまで以上に細かい設定ができます。



▲ 油圧系レバーパネル (お好み機能、耕うん設定)



▲ おまかせ機能



凸凹面は 左右のクローラが別々に揺動し、ほ場の小さな凸凹に影響されず、安定した走行ができます。

傾斜地は 後輪のグリップ力が高いので、スリップが少なく、重い作業機もラクラクけん引します。

直進は 広い接地面で横滑りが少なく、湿田・深田性にも優れ、作業精度も向上します。



情報コーナー

見習いたい熱意とパワー 新規就農者が増えています

団塊の世代の退職時代が始まりました。第二の人生を農業に賭ける人が少なくありません。また、都会の若者の中にも就農希望者が現れ始めています。それらの人の就業案内を行っているのが「全国新規就農相談センター(03-5251-3908)」です。同センターによると「作物づくりのノウハウを習得した上に、農業を経営して行くとなると、大変難しい事をよく説明しています。皆さん、期待と不安が入り混じった複雑な心境のようですが、チャレンジ精神は旺盛の方が多くいます。その熱意とやる気は見習いたいですね。」新規就農者の頑張りを期待したい。今、食の安全が問われています。食料自給率の低さも問題視され、国産農作物の需要が高まり、日本農業を支える生産者農家の奮闘に期待したいですね。

当たるといいな!

読者プレゼント

いつもご愛読有難うございます。今号登場いただいた女優・西崎みどりさんのサイン入り色紙とクッキングスケールを抽選の上3名様にプレゼント。ご希望の方はハガキで下記の三菱農機(株)営業本部(東京都五反田)宛お申し込みください。

応募締切 2008年4月末日必着
応募先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-5-1
五反田野村證券ビル6階
三菱農機株式会社 営業本部
「三菱農機だより」編集室



前号のプレゼント「ジャンパー」は下記の方々当選いたしました。ご報告いたします。

長野県北安曇野郡……伊藤克美様 香川県綾香郡……安田昌幸様
鹿児島県出水市……西野周市様



本社 島根県八束郡東出雲町大字揖屋町667-1
営業本部 東京都品川区西五反田1-5-1 五反田野村證券ビル

☎0852(52)2111
☎03(5759)8060

ホームページ <http://www.mam.co.jp/>

東日本三菱農機販売(株) 埼玉県北葛飾郡鷺宮町桜田2-133-4 ☎0480(58)9524
北海道支社 ☎0123(22)1234 関東甲信越支社 ☎0480(58)9521
東北支社 ☎022(364)1188 東海支社 ☎052(445)4861

西日本三菱農機販売(株) 岡山県瀬戸内市邑久町豆田161-1 ☎0869(24)0805
北陸支社 ☎0776(27)3078 山陰支店 ☎0852(52)2110
西日本支社 ☎0869(24)0820 九州支社 ☎0942(84)1888